

2018年 第28回 三溪園フォトコンテスト

テーマ「三溪園 四季のおもいで」

三溪園は、庭園や古建築、美術品、季節ごとの催し物を楽しむことができます。季節を変えるたびにさまざまな表情がみられる園内の風景を、ぜひあなたのカメラにおさめてください。今年も三溪園では、皆さまから心にのこる一枚を募集します。楽しかった記憶、印象的な一瞬、思い出の情景など、三溪園の魅力をひきだした作品をお待ちしています。秋には三溪記念館で入賞作品展を行います。

- ◆規 格／四つ切サイズ・ワイド四つ切サイズ(A4・A3も可) *画面は縁なしとしてください
- ◆応募先／〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1 三溪園フォトコンテスト係
- ◆メ 切／2018年9月1日(土)必着
- ◆発 表／2018年9月中旬以降(入賞者のみ通知します)
- ◆賞の種類／推薦1点・特選2点・入選3点・佳作10点・努力賞30点
(賞金：推薦5万円・特選3万円・入選2万円、賞状・賞品：推薦・特選・入選・佳作・努力賞)
- ◆審査員／大河原 雅彦(元神奈川新聞社カメラマン) 森 日出夫((公社)日本写真家協会会員)
山田 信次(日本写真作家協会会員)
- ◆応募上の注意
 - ・応募者本人による撮影で、未発表の単写真に限り3点まで応募できます。
 - ・2017年9月以降に三溪園内で撮影されたものに限りです。
 - ・デジタル加工を施した作品は、その旨を明記してください。
 - ・被写体が人物で、その肖像権について問題が発生した場合、応募者自身の責任により対処していただき、主催者はその責任を負いません。
 - ・入賞作品の著作権は主催者に帰属します。三溪園の広報・宣伝資料、オリジナル商品などに使用することがあります。(入賞作品以外でも広報印刷物などに使用することがあります。)
 - ・入賞作品の原板(フィルムカメラはネガ・ポジフィルム、デジタルカメラは実データ)を指定日までに提出していただきます。提出のない場合は、入賞を取り消しといたします。
 - ・応募作品の返却は直接受取りの場合のみに限りです。入賞以外の応募作品は入賞作品展期間内(10月～12月)に返却しますので、直接ご来園ください(郵送はいたしません)。
 - ・写真の裏に「タイトル・名前(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・撮影年月日・可能であれば機種」を明記した紙を貼ってください。

主催：公益財団法人 三溪園保勝会 後援：富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 協賛：神奈川県カメラ写真商組合

2017年 第27回 三溪園フォトコンテスト「三溪園 四季にあそぶ」

推薦

最優秀作品



「残照」
泉 洋二

第27回 三溪園フォトコンテスト「三溪園 四季にあそぶ」

特選



「霜月に舞う」 嶋村 すみ



「蓮しぶき」 長嶋 絹絵

入選



「私も一緒に、いいでしょ」 石川 元章



「消火訓練」 井脇 音文



「しんしんと」 濱崎 敬子

佳作



「落日」 宇田川 敦



「春のバトル」 内野 智子



「薫りほのかに」 青梅 あきら



「入日影」 加藤 裕子



「秋茜」 鎌田 洋子



「晩秋の競演」 角屋 充夫



「晩秋の御門」 仲村 公一郎



「朝の身仕度」 廣島 亨



「暑さを忘れて」 山口 醸二



「年明け」 渡辺 正治

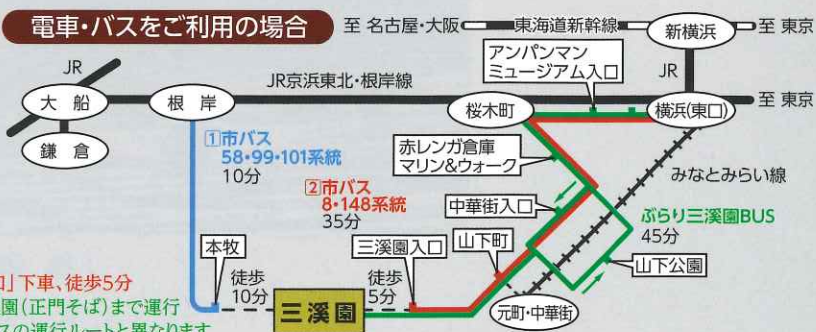
国指定名勝
三溪園

お問合せ／〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1
TEL045-621-0634・5 FAX045-621-6343
http://www.sankeien.or.jp

入園時間／9:00～16:30(閉園17:00)

交通／JR根岸駅から市バス(約10分)「本牧」下車、徒歩10分
横浜駅東口から市バス(約35分)「三溪園入口」下車、徒歩5分
桜木町駅から市バス(約25分)「三溪園入口」下車、徒歩5分
みなとみらい線元町・中華街駅から市バス(約15分)「三溪園入口」下車、徒歩5分
ぶらり三溪園BUS(約45分)(土・日・祝日 限定):横浜駅から三溪園(正門そば)まで運行
*通常の市営バスの運行ルートと異なります

電車・バスをご利用の場合



第27回 フォトコンテスト入賞作品展
17年9月30日(土)～12月13日(水) 三溪記念館内

今年度の応募は57点。たくさんのご応募ありがとうございました。
その中から選びぬかれた力作46点を展示します。